

70歳で国際柔道大会 初出場・初優勝！

ーエンジニアの栗國さんに「柔道」と「仕事」についてインタビュー！

2025 年 6 月、鹿児島県で開催された「2025 年日本ベテランズ国際柔道大会」で、70～74 歳・60 キロ級において、AEC の技術者、栗國謙次さん（70 歳）が、初出場・初優勝という快挙を成し遂げました！

栗國さんは、柔道歴 57 年。柔道六段の腕前を持ち、地域の子どもたちにも 40 年以上指導をされています。そして AEC では現場を支えるベテランエンジニア。まさに“柔と剛”を兼ね備えた方です。そんな栗國さんに「柔道」と「仕事」について、ざっくばらんにお話を伺いました。

■ 改めて、大会優勝おめでとうございます！どのようなお気持ちで大会に出場されたのですか？



ありがとうございます。
70 歳という節目を迎え、「子どもたちの手本になれば」と思って挑戦しました。ただ技を教えるだけでなく、『どう生きるか』みたいなことを伝えたいんです。だから、自分も常に挑戦し続けたい。初出場で初優勝できたのは、やっぱり続けてきたからだと思います。柔道が元気の秘訣にもなっています。

▲ 黒帯のさらに上段。紅白帯の有段者です。

■ 栗國さんは「第三種電気主任技術者」の資格をお持ちとのこと。電気事業法に基づく国家資格で、電圧 5 万ボルト未満の事業用電気工作物の工事、維持、運用に関する保安監督を行うことが認められる技術者です。仕事面でも、長年の経験と資格を活かし、現場を支える専門家として活躍しています！

■ 柔道と仕事、両立の秘訣は？

AEC には 50 歳で入社し、65 歳目前で一度退職しましたが、再び現場に戻ってきました。

両立の秘訣は「我慢と切り替え」ですね。仕事でうまくいかないとき、ストレスがたまった時は...柔道で汗を流す！

と、笑いながら話す栗國さん。

つらくても悔しい思いをバネに、『次こそは』と気持ちを切り替えてきました。心も体も、鍛えておくと自然と強くなれます。



▲ 大会優勝メダルを掲げる表情には、誇らしさが表れていました。

■ 最後に、若い方々にメッセージをお願いします！

とにかく、仕事でもなんでも、一度始めたことは、3 年は続けてほしいですね。最初は誰でもつらい。でも、すぐに辞めてしまうと、自信を失いやすくなるかもしれません。でも、続けた経験はきっと自分の支えになります。続けることで、見える景色があると思います。

■ 70 歳にして柔道六段、そして国際大会初優勝。一度退職しながら再び AEC に戻り、現役のエンジニアとして、第一線で活躍されている栗國さんの姿は、言葉では言い表せない「人としてのカッコよさ」が滲み出ていました。

「挑戦に年齢は関係ない」——私たち一人ひとりが、自分らしい道を進んでいける。そんな勇気をもらえるインタビューとなりました。